

あだちく 1ねん こくご きょうかしよを つかって

おうちでがくしゅう⑧ 「こえのおおきさどれくらい」 P14~15

足立区教育委員会

★がっこうが おやすみのあいだ こくごのきょうかしよをつかって おうちで がくしゅうしましょう。ひとりでも できますが できれば おうちのかたと いっしょに やりましょう。

きょうかしよ 14ページを ひらいて みてみましょう。

えをみると、ろうかや きょうしつ こうていなど、いろいろなばしょで ともだちや 2ねんせいとおはなししていますね。どんなことを はなしているのか そうぞうして、おうちのかたと おはなししてみましょう。

つぎに、ろうかではなすときと、きょうしつではなすとき、こうていではなすときとでは、こえのおおきさはどれくらいがいいのか、じっさいにこえにだして、おうちのかたと はなしあってみましょう。

じゅぎょうちゅう
だから、しー。

2ねんせいと
がっこうたんけんを
しているようです。
どんなこえではなせば
よいのでしょうか。

じゅぎょうちゅう、
となりのともだちと
はなしあうように
いわれたよ。
どんなこえではなせば
よいのでしょうか。

みんなのまえで
はなすときは、
どんなこえで
はなせば
よいのでしょうか。

こうていで
ともだちをよぶと
きは
どんなこえで
はなせば
よいのでしょうか。

ぼくも
いれて。

いいよ。

【保護者の方へ】

教科書の挿絵から、どういう場面か、どんなことをはなしているのか、話し合ってみてください。そして、その時の声の大きさはどれくらいが良いのか、実際に声を出して考えさせてください。授業中、大きな声で話しながら廊下を歩いたらどうなるか、また、隣の人と話し合うように言われたとき、他の人も近くで話し合っているのに、全員が大きな声で話し合ったらどうなるのか、場面を想定しながらその場所に合った声の大きさはどのくらいが良いのか体感できるようにお願いします。夢中になると、つい大きな声になってしまうお子さんもいれば、恥ずかしがって小さな声しか出せないお子さんもいます。『みんなの前で話すときの声はとってもいいね。でも、大きな声が迷惑になるときもあるから、考えて声をだそうね』『周りの迷惑にならないように静かな声で話せて立派だね。でも、みんなの前で話すときは、はっきりした声で話さないと聞いている友達全員に伝わらないよ。学校が始まるまでに大きな声で話せるように練習しようね』というように、お子さんの個性に応じて励ましてください。電車の中やお店の中、公共の場では大声を出さない、地域の方に挨拶するときは、はっきりした大きな声で、というように普段からその場に合った声の大きさを話せるように声掛けをしていくと、声の大きさを意識して話せるようになると思います。